ＭＲＩ 検 査 同 意 書

患者氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿様

MRI 検査につき説明いたしました。

医療機関名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

担当医師名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

上記の診療について、医師の説明を聞き、その内容を理解したので同意いたします。

年　　月　　日

本人／代理人＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿㊞

家　族＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿㊞

立会人＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿㊞

同席者職氏名（看護師）＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

※ 添付説明書（　ＭＲＩ　検　査　説　明　書　）

検査のみの予約用

ＭＲＩ検査説明書

■ MRI 検査について

MRI 検査では、強い磁石と電磁波を使って体内の状態を描写します。
レントゲン撮影や CT 検査のように、X 線を使用することなく病気の診断や治療の経過観察を行うことができます。
この検査は狭い空間の中で撮像しますので、閉所が苦手な方はお申し出ください。
検査中は工事現場のような大きな音が発生します。
耳栓を使用することで軽減しますので、気になるようでしたらお申し出ください。
MRI 検査は体の動きに弱い検査で、検査中は安静にしていただく必要があります。
検査の目的によっては 15～45 分程度かかりますので、安静が保てないようであれば医師にご相談ください。

□ 体内に医療機器や取り外しのできない金属類のある方

体内に医療機器や金属製医療器具が埋め込まれている場合、その材質によっては、原則 MRI 検査を受けることはできません。
ただ、現在では MRI に対応した医療機器も登場しており、この場合は一定の条件下で MRI 検査を受けることができます。
また、MRI 対応のものであっても、術後 6 週以上経過していない場合は MRI 検査を受けることはできません。(MRI の磁場によって移動することがあるため)
自身に埋め込まれている医療機器が MRI に対応したものかどうか、いつ埋め込まれたのか、事前に確認していただく必要がありますので、必ずお申し出ください。

（体内医療機器の一例）
・ペースメーカや ICD（植込み型除細動器）　/　CRT（心臓再同期療法）
・植込み型心電図記録計（ICM）
・脳室腹腔短絡術（VP シャント術）　/　腰椎腹腔短絡術（LP シャント術）
・人工関節などの整形外科領域の金属デバイス
・血管ステント　・脳動脈クリップ　・人工内耳　・義眼（マグネット固定式）
・美容整形で植込まれた金糸　など

※条件付き MRI 対応ペースメーカ/ICD（植込み型除細動器）/ CRT（心臓再同期療法）では機器の設定条件の確認や変更が必要となりますので、検査当日は必ず**ペースメーカー手帳**と**MRI 対応カード**を持参してください。

※水頭症という病気に対して行われる、脳室腹腔短絡術（VP シャント術）や腰椎腹腔短絡術（LP シャント術）を受けられている方は、MRI 検査を受ける前後に脳神経外科医師の診察を受けていただく必要があります。
MRI 対応のバルブが用いられている場合であっても受診は必要です。
ご不明な点はお問い合わせください。

※整形外科領域の金属デバイス（人工関節など）は術後 6 週以上経過していれば検査可能です。

□　血糖測定器（リブレ / DEXCOM）を使用している方

血糖測定器（リブレ / DEXCOM）を使用している場合は外していただきます。
可能であれば、交換の時期と検査日を合わせていただくとよいかと思います。

□　歯科用金属を使用している方

種類によって MRI に対応したものもありますので、事前に歯科医にご相談ください。
（インプラント / オーバーデンチャー / 歯科矯正器具 / 矯正ブリッジ など）

□　アートメイクや刺青、化粧について

アートメイクや刺青では、その色素に「鉄」などの金属磁性体を含むものがあり、これがＭＲＩで発せられる電磁波と反応すると、電流が流れ、発熱し、熱傷をすることがあります。
色素に「鉄」が含まれているかどうかは、皮膚を見ただけでは分かりませんので、検査を受ける場合はこのようなリスクがあることをご理解いただく必要があります。
また、マスカラやアイシャドウなど、一般的な化粧品類も同様に発熱や熱傷の可能性がありますので、予めご承知おきください。
検査中に異常を感じる場合は直ちに検査を中止します。

※当院においては、過去に 1 名の方で発熱を感じた事例はありましたが熱傷に至るような事例はありません。

■　その他、検査までに外していただくもの

・カラーコンタクトレンズは、酸化鉄や酸化チタンといった金属に分類されるもので着色されている場合が多く、安全に検査を受けていただくために検査前に外していただきます。
・**マグネットネイルやジェルネイルは、多くの場合砂鉄が使用されていますので、検査当日までに必ず外しておいてください。**

・以下のものについても、発熱の危険がありますので検査当日は使用を控えてください。
増毛スプレー　白髪染めパウダー　ピアス　など

・貼付剤は、下記のものは検査前に剥がしていただきます。

★貼付剤に金属が使用されているもの

ニコチネル　ニトロダーム　ノルスパンテープ

2022 年 6 月以前に製造されたニューロパッチ（アルミ箔の使われているもの）など

★水分含有量の多いもの

アドフォードパップやセルタッチパップ（セルタッチテープは除く）など

★貼付部位の温度上昇で吸収量が増加する可能性があるもの

フェントステープ　などの麻薬類

□　妊娠中の方や授乳中の方

・妊娠中の方

ＭＲＩ検査（造影検査を含む）による胎児への安全性は確立されておらず、特段の理由が無い限り、妊娠中の方へのＭＲＩ検査はお断りしています。

・授乳中の方

造影剤を使わない通常のＭＲＩ検査であれば特に問題はありません。

造影剤を使用するＭＲＩ検査の場合は、微量ですが造影剤が母乳へ移行しますので、可能であれば検査後 48 時間程度は授乳を控えてください。

ただ、医学放射線学会からは、母乳への造影剤の移行はごくわずかであり乳児への影響も非常に小さく、特段の理由が無い限り授乳制限の必要は無い、とのコメントも出されていますので、余り神経質になる必要もありません。

■　代替え可能な検査について

ＭＲＩ検査が困難な場合やこの検査を希望されない場合は、他の検査によって代替え可能なケースもありますので医師にご相談ください。

■　同意の撤回と自由

検査はあなたの意志によって決定されます。

あなたの希望により、いつでも検査を中止することができます。